

平成 2 8 年

第 6 回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

平成28年第6回仙北市議会臨時会を招集したところ、議員の皆様にはご出席を賜り誠にありがとうございます。

それでは、前回定例会後の主要事項並びに諸般の状況等を報告します。

◇カラ吹き源泉事故に係る損害賠償の申し立てについて

昨年3月に発生したカラ吹き源泉事故でお亡くなりになったご遺族から、7月1日に「損害賠償に関する申し立て書」が提出されました。申し立ては、第一に市側と速やかに話し合いのできる環境を整えて欲しいというものです。

今後顧問弁護士と相談の上、申立人と話し合いの場を設け対応させていただきます。

◇保育施設に対する爆破予告の対応について

7月4日11時38分、県庁から市へ「県内保育施設に対する爆破予告があったため、同施設の緊急点検及び警戒の強化を図るよう」にとの連絡が入りました。

市は直ちに連絡室を立ち上げ、保護者への緊急連絡、関係する全施設の総点検及び園児の避難（保護者への引渡しを含む）、並びに職員による施設の巡回対応を図りました。

その結果、爆破予告時刻前にすべての園児を避難させ、身の安全を確保し、被害発生はありませんでした。

また、園に隣接する小・中学校に対しても情報提供し、校内の不審物の有無について点検を行いました。異常は無く、念のため児童生徒の下校に保護者の送迎を依頼するなどして安全確保を行いました。

引き続き保護者と市の関係部課の緊密な連携を図り、いかなる緊急事態にも適切に対応したいと思っています。

◇仙北市消防訓練大会の結果について

7月3日、落合運動公園駐車場にて、仙北市消防訓練大会を開催しました。全10分団が参加し、小型ポンプ操法には23隊、規律訓練には7隊出場し、消防技術の速さと正確さを競い合いました。

小型ポンプ操法の部では第4分団2班が優勝し、準優勝は第8分団2班、第3位は第4分団3班、第4位は第5分団3班、第5位は第10分団1班、第6位は第10分団2班、また規律訓練の部では、第8分団が優勝し、準優勝は第10分団、第3位は第6分団でした。

各上位3チームは、7月16日に開催される秋田県消防協会大仙仙北美郷支部消防訓練大会に出場します。支部大会でも優勝を目指していただきたいと思います。

◇ドローン競技会に関するシンポジウムについて

7月29日から31日にかけて実施するドローン競技会の関係事業のうち、29日に開催される「地方創生シンポジウム」のタイトルを一部変更し、「地方創生この指とまれ ～近未来技術が拓く田舎の未来～」をメインタイトルとしました。角館交流センターで夕方の16時から17時30分まで、基調講演やパネル討論などを開催します。

ドローンなどの近未来技術が仙北市の未来をどのように拓いていくのか、最先端分野で活躍する官民の方々によるディスカッションは、聴き応え十分の内容です。30日と31日のドローン競技会と併せ、ぜひご来場いただきたいと思います。

◇仙北市総合戦略アドバイザーについて

今年4月から、仙北市総合戦略に掲げた事業実施後の政策検証のため、秋田銀行と北都銀行の両行に総合戦略アドバイザーの推薦依頼をしていましたが、この度、決定をいただきましたので報告します。秋田銀行からは、株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング

グ代表取締役社長の佐藤隆夫氏、北都銀行からは、株式会社フィデア総合研究所の取締役副社長の渡部均氏です。お二人には7月中に委嘱状を交付する予定です。

さらに昨日、特区認定でもご支援いただいた慶応義塾大学大学院教授の岸博幸氏に、総合戦略アドバイザーの委嘱状を交付しました。

今後も特区事業の進捗手法について、アドバイスをいただく予定です。

◇第三セクターの株主総会について

市が出資している第三セクターの株主総会が開催されましたので、事業概要を報告します。

秋田内陸縦貫鉄道株式会社の株主総会は6月29日、北秋田市阿仁庁舎で開催されました。経常損益は前期より2,365万4千円改善して、1億7,839万5千円の赤字となり、四者合意の目標である赤字2億円以内を2年ぶりに達成することができました。要因は、軽油の値下がりによる動力費の圧縮と暖冬による除雪費用の低減が挙げられます。

株式会社西木村総合公社の株主総会は6月29日、西木温泉ふれあいプラザクリオンで開催されました。当期純損益は276万5千円の黒字で前期より168万6千円の増益となりました。要因は、福祉部門運営委託料の増加が挙げられます。

株式会社西宮家の株主総会は6月30日、西宮家で開催されました。当期純損益は4千円の赤字ですが、前期より52万2千円の増益となりました。要因は、人件費の減少が挙げられます。

株式会社花葉館の株主総会は6月30日、花葉館で開催されました。当期純損益は700万4千円の黒字で前期より478万5千円の増益となりました。要因は、燃料費や光熱水費の圧縮が挙げられます。

いずれの第三セクター法人も厳しい経営環境が続いていますが、設立の目的や経緯を踏まえ一層の経営努力に努めていきます。

◇タイ王国知事トップセールスへの参加について

6月25日から28日まで、青柳議長とともに、秋田県が実施したタイ王国での知事トップセールスに参加しました。市はインバウンド対策として、これまでも教育旅行や文化交流などに積極的に取り組んできましたが、今回はタイ王国内の旅行社100社を対象に、秋田県観光セミナーで観光PRスピーチを行ったほか、タイ王国スポーツ庁訪問、また10月に角館高等学校との交流を予定する高校訪問など、実り多い活動とすることができました。

スポーツ庁の訪問では、ナンタブース副長官とお会いし、スキーやカヌーなど市の地の利をアピールし、スポーツを核とした交流を行う体制が出来上がっていることをお伝えしました。また秋田県出身で、県観光特別顧問の菊地久夫氏（SMIトラベル社長）と意見交換を行い、市が国に提案している旅行業法の規制緩和を見据えた旅行商品の造成と販売について、大変貴重なアドバイスをいただくことができました。

◇経営所得安定対策の加入申請について

平成28年度経営所得安定対策加入申請件数は、6月30日現在で1,671件（うち法人9件、集落営農組織15件）です。これは6月13日から6月21日までに、市内6会場で農家向け申請受付会を開催したことによるもので、申請者の約8割（1,331件）の方に会場に来ていただくことができました。

今後、東北農政局秋田支局で申請書記載内容を確認し、交付金の対象となる農業者の皆様には、年内に交付金が交付される予定です。

◇多面的機能支払交付金事業について

多面的機能支払交付金事業は、従来の農地・水保全管理支払交付金事業から、農地維持活動が大幅に拡充され、平成26年度にスタートした事業です。本年度は6月に国から交付金の承認通知が届き、

これを受け申請のあった各組織には、7月11日頃に補助金の一部が交付される予定です。市内では現在51組織、事業区域では、3,261.67ヘクタールの取り組みがあり、市内の水田面積の約7割を占めています。

地域の農業者を中心に、市民参加で農地の保全管理や農村環境の向上に繋がるものと期待しています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げました。

今臨時会で審議をお願いする案件は、予算関係1件、契約関係1件、人事関係1件です。慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます。